

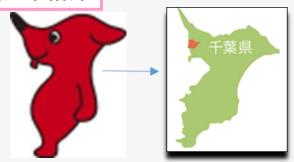
松戸市役所は「松戸市民のために役立つ人のいる所」 市民にわかりやすく、利用しやすい市役所を目指しています。 約70名の保健師がさまざまな分野で活動しています。 市民の健康を一緒につくり、守りませんか?



保健師の主な







都心から20km圏内。豊かな自然を残しながら、 首都圏のベッドタウンとして発展しています。

人口:500,922人(令和7年3月31日現在)

年間出生数:2,999人(令和6年度)

高齢者人口:128,723人(令和7年3月31日現在)

高齢化率: 25.7%





配属先と施設

主な配属先

松戸市役所本庁舎			
人事課 医務室	職員の健康支援		
健康医療政策課	感染症・災害医療対策		
指導監査課	社会福祉法人の認可及 び指導監査		
高齢者支援課	高齢者の介護予防及び 認知症対策		
地域包括ケア推進課	地域包括支援センター の総合調整及び後方支 援 →詳しくは4ページ		
子ども未来応援課	地域の子育て支援		

中央保健福祉センター

健康推進課	成人高齢者の健康づくり →詳しくは3ページ	
健康推進課 健診担当室	成人のがん検診、特定健 康診査等に関すること	
こども家庭センター	子ども家庭相談	
こども家庭センター 母子保健担当室	母子の健康支援 →詳しくは2ページ	

小金保健福祉センター

こども家庭センター 母子保健担当室

母子の健康支援 →詳しくは2ページ

健康福祉会館(ふれあい22)

こども発達センター

障がいや発達に心配 のある方(お子さ ん)の支援

常盤平保健福祉センター

こども家庭センター 母子保健担当室

母子の健康支援 →詳しくは2ページ

市立総合医療センター

総合医療センター 健康管理室

職員の健康支援

統括保健師 紹介



【地域の特性を活かし、健康なまちづくりを推進する保健師になろう!】

松戸市には自分たちで策定した保健師活動指針や人材育成マニュアルがあり、新任期はもちろん、中堅期以降も、それぞれが目指す保健師像に向かってスキルアップできる体制となっています。人材育成のスローガンは「地域の特性を活かし、健康なまちづくりを推進する保健師になろう」。地域の健康を守る活動はやりがいがあります。

また、人や組織の成長のためには安心して働ける環境であることが大切です。松戸市では定期的に面談の機会があり、先輩や上司に相談できるのはもちろん、統括保健師も現場の声を聴かせてもらっています。

私は入庁31年になりますが、ワークライフバランスを充実させ、仕事 を続けることができています。とても有難く、松戸市に入庁して良かった と思っています。保健師一同、新しい仲間が増えるのをお待ちしています。

親子を選予分野

こども家庭センター母子保健担当室

■ 妊産、出産、子育て期までの切れ目のない支援 ■ 子ども総合計画(母子保健計画包含)推進

母子分野 主な業務

相談

訪問

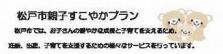
健診

教室

健康 教育 児童虐 待予防

母子健康手帳交付

昭和47年から保健師が面接を実施しています。全ての 妊婦に親子すこやかプランを作成し、ひとり一人に合 わせて、妊娠・出産・子育 て支援サービスを紹介し、 相談に応じています。



妊娠・出産 から子育て期全般相談 大保護福祉センター:保護館、栄養士、歯判等生士が、母子の健康や育児、歯 禁についての相談を受けています。

会議とついての形象をおりています。 会議子すこやかセンター:保護課、社会福祉士、助産網が、妊娠中から母子保護・ 物形な変サービス等を利用できるよう和職を受けています。

T	名等	1000	Ŧ	所在地
Ī	中央保護課後以外	047- 366-7489	271-	数戸市竹ヶ花 74-3



乳児家庭全戸訪問

生後4か月を迎える前まで の乳児のいる全ての家庭に 保健師・助産師が訪問。体 重測定や保護者の様々な相 談に応じています。産婦に はEPDS(産後うつ質問票) に回答していただき支援に つなげています。また、産 科医療機関とも密に連携し ています。



組織体制

全国に先がけ、平成28年度保健福祉 センター内に親子すこやかセン ター、平成29年度に子ども家庭総合 拠点を同一課内に設置しました。

令和5年度には、2つの機能(母子 保健機能・児童福祉機能)を有した こども家庭センターを設置し、妊娠 期から子育て期における一体的相談 支援体制の強化を図り、児童虐待の 予防・早期発見・早期対応をしてい ます。

こども家庭センター

母子保健担当室(母子保健機能)

保健福祉センター

- ・すべての妊産婦・乳幼児に対応
- ・母子保健事業の運営(幼児健診、ママパパ学級

1 連携

親子すこやかセンター

保健師・助産師・社会福祉士が、妊娠から子育て期にかかわる様々な相談に対応



児童福祉機能

児童虐待や子育ての不安など、子どもや家庭に関する 相談に対応



母子分野の若手職員



荻野 保健師

2年目

こども家庭センター母子保健担当室所属 (常盤平保健福祉センター)

令和7.4.1現在



松戸市に入ったきっかけは?

保健師になったら子育て支援がしたい!と思っていた私は、子育て支援に力を入れている市町 村で働きたいと考えていました。

縁もゆかりもありませんでしたが、県内トップで「共働き子育てしやすい街」として選ばれている松戸市を志望しました。



保健師になって良かったことは?

コロナ禍で思うように実習ができなかったこともあり、入庁してから初めて経験することばかりで不安な毎日でした。私の不安が解消されるまで、先輩保健師が時間をかけてご指導してくださり、少しずつですが成長することができています。大変なこともありますが、親子に関わる中で、保護者のホッとした表情が見れたり、お子さんの成長を一緒に喜べたりと、嬉しい瞬間に立ち会えるお仕事だなと感じています。

12:15~13:00 昼休み

センターに戻り、昼食をとります。 持参したお弁当を食べることが多いですが、 お弁当屋さんに頼むこともできます。

9:30~12:15 家庭訪問・移動

担当地区の妊婦や乳幼児がいる家庭に、 自転車や自動車で訪問します。 時にはこども家庭センターなどの、 他職種職員と同行することもあります。

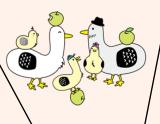
9:00~9:30 準備

訪問計画を立て、必要な資料や 物品を準備します。 センターでの在席時には、電話や 窓口応対も並行して行います。

8:30~9:00

ミーティング・資料確認

ミーティングでは、センター職員の スケジュールや連絡事項を共有します。 メールチェックなどを済ませ、1日の 段取りを組みます。



13:00~15:00 訪問記録

訪問結果やアセスメント内容等を記録し、上司 に確認していただきます。

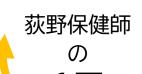
産後うつや虐待疑いがある場合など、必要時、 カンファレンスを実施し、今後の方向性や他機 関への連絡を検討します。

15:00~17:00 担当事業の業務

センター内で市民健康相談室や発達相談 事業の担当を任されています。 担当事業の情報周知や物品補充、外部と の連絡調整などを行います。

17:00~ 退勤後

日中できなかったケース記録や業務の事後処理などを17時以降に行うこともあります。明日のためにも、帰宅後は休息をしっかりとります。同期と外食でリフレッシュ、スキルアップのために勉強することもあります。



1日

市民の

健康づくり

健康推進課

● 健康まつど21(健康増進計画)の推進

地域の健康づくり

成人分野 主な業務

健康 教育 健康 相談

健康推進 員育成 健診 検診 自殺 対策

フレイル 予防

健康教育 · 健康相談

地域に出向き、健康づくり に関する様々なテーマの講 座を開催しています。

また、健康診査結果に基づ く保健指導や禁煙相談など の個別支援を行っていま す。





健康推進員育成

地域の健康づくりを推進す る人材である健康推進員の 育成を行っています。

ウォーキングマップの作成 や、各地区で開催されるイ ベント会場での普及啓発な ど、地域に根付いた活動が できるよう支援します。



まつど健康ハッピーフェスタ

市民の健康づくり推進する 企業・団体である[健康松 戸21応援団]と協働し、子 どもから大人まで、楽しみ ながら健康づくりを体験で きるイベントを毎年開催し ています。





健康松戸21マスコットキャラクター 「けあら」



地域保健分野の若手職員



鈴木 保健師 2年目 健康推進課所属

令和7.4.1現在



松戸市に入ったきっかけは?

大学での学びや看護師としての業務の中で、「病気になる前に予防する」ということの大切さを 感じる機会が多くありました。自分が生まれ育った故郷で、人々が生き生きと自分らしく生活で きるよう、健康づくりのサポートをしたいという思いから入庁しました。



入庁者へのメッセージをお願いします

鈴木保健師

 \mathcal{O}

保健師として活動するなかで、個人だけではなく集団を対象にした健康教育や、地域のイベントでの啓発など、市民の方と触れ合う機会が多くあります。また、地域の会議に参加したり、地域の組織や関係機関ともコミュニケーションをとる機会もあり、地域の方々と信頼関係を築きながら仕事をする楽しさを日々感じています。時には悩むこともありますが、これから入庁する皆さんと一緒に私自身も成長していけたらと思います。

10:30~12:15 健康相談

健康相談は随時受け付けています。継続 支援が必要な方は、地区担当保健師が支 援を行います。

9:30~10:30 保健師会議

業務の進捗状況の共有や課題・今後の方向性の検討などを行っています。担当している業務で困っていることも相談できるので、一人で抱え込む心配はありません。

8:30~9:30 朝礼・スケジュール確認 事務処理

班全体のスケジュールや連絡事項 を共有します。メールや庁内電子 掲示板を確認し、提出物等がない か確認をします。 12:15~13:00 昼休み

13:00~15:00 家庭訪問

ご本人やご家族、関連機関等からの相談を 受け、支援が必要な方に対し家庭訪問を 行っています。一人ひとりと向き合いなが ら、必要に応じてカンファレンスを実施 し、その人に必要な支援を検討します。

15:00~17:00

記録・資料作成・事務処理

家庭訪問や健康相談の記録、健康教育 の企画書や使用する資料、実施後の報 告書などを作成します。事務作業を行 いながらも、電話相談や問い合わせな どの対応を行っています。

17:00 退勤

帰宅後は読書や好きな音楽を聴くなど自分の 好きなことをして、次の日に疲れを残さない よう過ごしてリフレッシュをしています。

高齢者を一声治行が野

高齢者支援課・地域包括ケア推進課・指導監査課

- いきいき安心プランまつど畑の推進 (高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)
- 生涯現役社会の実現・健康寿命の延伸
- 地域包括ケアシステムの深化・推進

高齢者 部門

社会参加就労支援

介護予防 認知症施策 高齢者の 総合相談

在宅医療介護 連携推進 計画の企画· 立案·進行管理

ケース支援・後方支援(総合相談)

市内には15か所に地域包括支援センター (委託)が設置され、住民の身近な場で 高齢者の支援を行っています。可能な 限り、住み慣れた自宅や地域で生活し続け られるよう、医療・介護・予防・住まい・ 生活支援を包括的に確保する体制を推進し ています。市の保健師は、社会福祉士や 主任介護支援専門員と共に担当地区の 総合調整や後方支援を行っています。

地域ケア会議(地域づくり)

総合相談支援業務 その他の業務・・・ ・住民の各種相談を幅広く受け付け、 包括的な相談支援を実施など 地域ケア会議関係業務 個別事例、地域課題の把握、解決 複合課題の解決 など 権利擁護業務 生活支援体制整備事業 ・成年後見制度の活用促進・高齢者虐待対応、養護者支援・虐待防止条例との連携など 地域づくり、担い手の育成 多機能コーディネーターとの連携 など 社会福祉士等 在宅医療・介護連携推進事業 在宅医療・介護連携支援センター 地域サポート医との連携 など 認知症総合支援事業 保健師等 包括的・継続的ケア チームアプローチ マネジメント支援業務 介護支援専門員への日常的な個別 介護予防ケアマネジメント ・ 介護文族等行場へいらのいるを必え 相談・支援 ・ 介護支援専門員の支援困難事例 等への指導・助言など ・ 地域との連携、ネットワーク構築 事業対象者・要支援の方に対する介護予防ケアマネジメント、介護予防ケアプランの作成など 統括・総合調整 後方支援

担当地区の地域関係者や事業者等との地域課題の共有・課題解決、地域づくりの構築を進めています。 多機能コーディネーター(地域包括支援センターに配置)と共に、防災対策や助け合いなど地域住民の支え あい活動の実現に向けて、地域ケア会議や2層ワーキングを通して、一緒に活動をしています。

個別支援(高齢者虐待を含む)

「老々介護」、「ダブルケア」、「8050問題」、「高齢者虐待」等、高齢者を取り巻く環境は困難化、複雑化しています。地域包括支援センターと共に担当地区のケースの進捗確認を行い、必要に応じて家庭訪問や関係機関の調整などを行っています。



松戸市虐待防止推進 キャラクター「ハートはと」

介護予防

高齢者が社会的役割等の生きがいを持ち、身近な地域で過ごせるよう通いの場や介護予防教室の取組をはじめ、心身の状態に応じたサービス等を利用しながら自立支援を促進することで介護予防の推進を図っています。

認知症施策

認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して、認知症サポーター養成講座や 講演会、認知症予防教室等を通して認知症の普及啓発や早期発見、早期対応を進め るとともに、認知症の方が身近な地域で自身の持っている力を発揮できるような 地域づくりを関係者等と連携しながら構築しています。





高齢者分野の若手職員



山田 保健師3年目地域包括ケア推進課所属



松戸市に入ったきっかけは?

令和7.4.1現在

社会人として働くようになってから、ご縁があって松戸市で住むこととなり、保健師として自分が住む街を、より住みやすい街にしていきたいと考え、松戸市の保健師を希望しました。



やりがいは?

地域包括支援センターの後方支援という立場ではありますが、ADLの低下や認知症によって生活に困っていた高齢者の方が、適切な支援につながって、その人らしい生活を送っている事を確認できた時、やりがいを感じます。 また、地域づくり活動の一環で、定期的に担当地区のごみ拾い活動に参加しており、市民の方と一緒に地区を良くしていく事に、充実感があります。

12:15~13:00 昼食

体を鍛えているので、タン パク質を意識した食事をし ています。

10:00~12:15 訪問

地域包括支援センターが支援する 困難事例について対象者の施設や 自宅を訪問し、今後の支援につい て担当者間で協議します。

9:00~10:00 打合せ

担当地区の地域包括支援センター へ連絡し、ケースの共有や事業に ついての打ち合わせを行います。

8:30~9:00 ミーティング

課内の職員と日ごろ担当している支援困難 ケース等の事例検討を行って、今後の支援を 相談。ケースを一人で抱え込まずに対応でき るようになるので、とてもいい機会になって います。

山田保健師 の1日

13:00~15:00 会議

担当地区の地域個別ケア会議出席。 地域の支援者や民生委員の方々と、 事例の課題解決を目指したり、地域 課題を挙げたりしています。

15:00~16:50 資料作成

家庭訪問の記録や会議録、次回開催 される会議資料を作成します。

16:50~17:00 ミーティング

課内の職員とケース対応や予定について 情報共有し、翌日以降に地区担当者が不 在でも、対応できるように準備します。

17:00 退勤

日中にできなかったケース記録や資料作成などを17時以降に行うこともあります。早く帰れる日は帰るようにして、ワークライフバランスを大事にしています。

業務体制

地域の特性に応じた活動を推進するため、各分野においては業務分担制と地区分担制を 併用しています。本市においても法改正の影響などにより保健師の分散配置が進み、直 接的な市民への保健サービスだけではなく、政策への積極的な関与や、障がい、虐待な どに関する福祉分野での活動にかかわるなど、その役割は広がってきています。

松戸市保健師連携推進会議

庁内の管理職保健師により構成される「松戸市保健師連携推進会議」を開催 し、災害時保健医療活動や糖尿病対策等、包括的な地域保健体制の構築に向 けた取り組みを推進しています。

人材育成 研修制度

松戸市では、新規採用職員に、入庁半年間はトレーナーと呼ばれる先輩職員が各職場で1対1でつき、OJTシートにより各業務の習熟度を確認しながら育成を行います。 仕事のことはもちろん、社会人の先輩としていろいろな相談もできるので安心です。

専門的能力の育成のためには、「新任保健師育成プログラム」により採用年度から3年間、スタッフ全員が協力して新任保健師育成に当たります。また、「松戸市における保健師の活動指針」により、松戸市の保健師活動の変遷や現状、今後の保健師としての活動の方向性について共通認識を図っています。さらに、「松戸市保健師現任教育マニュアル」を基に、OJT(職場内研修)、OFF-JT(職場外研修)、自己啓発、ジョブローテーションを4本の柱として、新任期、中堅機、管理期において保健活動到達状況チェックリストを活用し、保健師の活動領域ごとに求められる能力の獲得に向けて、業務を行っています。

研修については、庁内の「公務員倫理」「財政・会計」等の行政職員としての研修の 他、専門職として、千葉県主催の階層別研修や外部研修等への参加を通して必要な能 力・技術を習得できます。

松戸市職員採用情報ページ

https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisei/soumu-saiyou/syokuinsaiyou/index.html



